

## 社会福祉法人日照養徳園評議員選任・解任委員会運営細則

### (目的)

第1条 本細則は、社会福祉法人日照養徳園定款第6条1項に規定された、社会福祉法人日照養徳園評議員選任・解任委員会(以下「委員会」という。)の評議員の選任・解任手続等を定めるものである。

### (委員の構成)

第2条 委員会は、監事1名、職員1名及び以下の事項に該当しない外部委員2名の合計4名で構成する。

(1) この法人又は関連団体の業務を執行する者又は使用人(過去に業務執行又は使用人であったものを含む。)

(2) (1)に該当する者の配偶者、3親等内の親族又は使用人(過去に使用人(過去に使用人であった者を含む。))

2 理事長(理事長に事故あるときは業務執行理事)は、委員会に出席しなければならない。

### (委員の選任及び任期)

第3条 委員会の委員となる職員及び外部委員の選任は、理事会において行う。

2 委員会の委員となる監事は、監事間で協議のうえ決定する。

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、就任後4年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、再任を防げない。

2 委員は、辞任又は任期満了後においても、定款第6条第2項に定める定員に足りなくなるときは、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

3 退任した委員の補欠として選任された委員の任期は、退任した委員の任期までとする。

### (委員の解任)

第5条 委員が、次の各号のいずれかに該当するときは、理事会において、理事現在数の3分の2以上の議決により、理事長がこれを解任することができる。

(1) 心身故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき

(2) 職務上の義務違反、その他委員たるにふさわしくない行為があると認められるとき

### (招集)

第6条 委員会は、理事会の決議により理事長が招集する。

(招集通知)

第7条 理事長は、委員会の日の1週間前までに、各委員に対して書面でその通知を発しなければならない。ただし、委員の全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく開催することができる。

(委員長)

第8条 委員会に委員長を置き、委員長は当該委員会において、委員の中から互選により選出する。

2 委員長は、委員会の議長とする。

(評議員の選任)

第9条 評議員の選任は、以下の各号の手続を経るものとする。

- (1) 評議員候補者は、理事会が委員会に推薦する。
- (2) 理事長(理事長に事故あるときは業務執行理事)は、委員会に、当該候補者の経歴、当該候補者を評議員候補者とした理由、当該候補者と当該法人及び役員等との関係、当該候補者の兼職状況等を文書をもって説明しなければならない。
- (3) 委員会は、評議員候補者について審議を行い、評議員選任の決議を行う。

(評議員の解任)

第11条 評議員の解任は、以下の各号の手続を経るものとする。

- (1) 理事会(理事長に事故あるときは業務執行理事)は、委員会に理事会で決議された評議員解任の提案を行い、評議員として不適任とした理由を委員に説明しなければならない。
- (2) 委員会は、解任の提案をされた被解任評議員に弁明の機会を保障する。
- (3) 委員会は、理事会より提案された評議員の解任について審議を行い、解任の可否について決議を行う。

(決議)

第11条 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

(議事録)

第12条 委員会の議事については、議事録を作成する。

- 2 議事録は書面をもって作成し、委員長及び出席した委員が署名又は記名押印しなければならない。
- 3 議事録は、次に掲げる事項を内容とするものでなければならない。

- (1) 委員会が開催された年月日及び場所
- (2) 委員会の議事の経過の要領及びその結果
- (3) 委員会に出席した委員及び理事の氏名

(委員の報酬等)

第13条 委員には、報酬を支給しない。

2 委員の執務報酬額は、理事会の決議により理事長が定める。

3 委員は、その職務を行うために要する費用の弁償を求めることができる。  
この場合の支給基準については、理事会の決議により、理事長が定める。

(細則の改廃)

第14条 この細則の改廃は、理事会の議決により理事長が定める。

附則

この細則は、定款変更の認可の日から施行する。